平成17(2005)年福岡県西方沖地震に関わる震災・応急対応フロー

（2007.3.20. 作成者：瀬尾和大・上田　遼）

	地震発生	数時間後	半日後	1日後	2日後	1週間後	2週間後	1ヶ月後	2ヶ月後
行政対応 国レベル	首相官邸に対策室設置(11:00) 自衛隊偵察開始(11:10)　各党，災害対策本部を設置 第七管区海上保安本部，巡視船を玄界島へ派遣(15:10)			総務相，普通交付税前倒し検討 (22日夕刊)	細田官房長官のコメント 玄界島へ離島振興法活用検討(23日)	首相玄界島視察(3/26)			
県レベル	福岡県被害対策本部設置　福岡県，福岡市への災害救助法適用を発表(19:00) 福岡県知事自衛隊に災害派遣要請(12:40) 玄界島へ応急危険度判定士3人を派遣決定 佐賀県、被害対策本部を災害情報連絡室に移行(15:48) 新潟県が支援本部を設置，職員派遣決定(11:40)				公営住宅70戸確保を発表 福岡県，災害見舞金支給 と中小企業相談窓口設置 大名1丁目ビル周辺の避難 勧告を解除(23日午前)	恒久的集合住宅の建設を検討(西日本28日夕) 県，農業関係被害9,900万円と発表(28日) 玄界島民が福岡市に恒久的集合住宅建設を陳情 公共施設と農作物の被害額が347億円と発表(西日本30夕) （港湾施設140億，水産60億，農業1億3500万）		福岡市、県の「住宅応急修理支援事業 （30万円限度）」に最大3万円上乗せ 支給を発表(4/25) 県,補正予算案を発表.復旧費 30億円,島民仮設11億円(5/31)	
市町村レベル	福岡市被害対策本部設置(11:20) 対馬に津波警報・まもなく解除 「防災メール」福岡市は発信せず			福岡市、災害見舞金支給　福岡市，仮設住宅200戸の候補地として と中小企業相談窓口設置　西区姪浜漁港近くを検討＝西日本23夕 福岡・佐賀の金融機関， 特別融資など特別対策を発表	玄界島民の仮設住宅候補地，分散化を検討 （島内および中央区港二丁目のかもめ広場）	仮設住宅，玄界島84戸・博多漁港116戸 を着工(西日本28夕)　仮設住宅玄界島分 追加決定84→100 (3/30) 福岡商工会議所が会員被害調査発表 判明分で18億円(3/28)	震災住宅に独自助成を行うと発表 西浦と宮浦を特別支援地区に(西日本4/1) 公共施設の復旧784億円と発表 人工島ふ頭補修580億円 漁港施設150億円		福岡市、分譲マンションの再 建補修費の利子の一部を 補助する制度を開始(4/25) 仮設住宅入居抽選(4/22) 博多港仮設入居開始100戸250人(4/25) 玄界島仮設入居開始100戸270人(4/26)
応急活動	博多駅駅舎内座り込み・トイレなど混乱 福岡市役所前広場に数百人避難(12:30) 警固体育館に300人自主避難 中央区2,200人が小学校体育館などに避難	避難者数最大2,876人（21日13h） 福岡市内の負傷者 400人が病院で治療中	自主避難2,017人(22日10h)　避難者数1,273人（23日 10h） 西浦，大名の16世帯39人， 舞鶴2で避難勧告(22日夕刊)	避難者数913人(474世帯)(26日16h) 西浦地区，ビニールハウス・車座・倉庫で寝泊まり(西日本26日) 午前玄界島民が一時帰島(西日本24日夕) 震災補修かたり盗み，福岡市に被害続出(西日本24日)	玄界小・中教員11人 学用品取りに帰島(西日本29夕)	福岡ビルのガラス大量落下 旧工法放置責任あいまい(西日本4/1) 玄界島民一時帰島，1回10分 4月1日～4日(西日本4/1)		避難者440人(朝日4/19) 玄界島復興対策委員会の第一回 会議開催.福岡市漁協玄界島支所 復興イメージ図を市に要求(5/7)	
情報伝達	玄界島民避難開始(17:05)，同日中に完了 玄界島民，九電体育館に到着(18:23) 九電体育館で夕食が支給される(19:15)		自衛隊，玄界島空撮， 避難所に写真コーナー設置(22日)	九電記念体育館(中央区)に玄界島の 主治医と保健師，洗濯機(西日本23日夕) 博多区千代の避難勧告解除(26日)	避難所で風邪インフルエンザ　「『避難所』機能　体育館に穴」 急増12人入院(28日)　十分なコンセントや衣食備蓄なし(西日本30)			「マンションの玄関損壊が 逃げ道ふさぐ」(朝日4/19)	玄界島民アンケート 4割が集合住宅建設， 1/4が自宅修復希望
マスコミ	西日本新聞の号外が配られる(17:50)		西日本新聞アンケート，最も心配なこと1位：住宅再建47%， 行政に望むこと1位：住宅再建50%，今最も困っていること 1位：生活用品23%2位情報少ない22%(西日本23日)	「液状化　認識にズレ」専門家と住民 危険性知らず購入(西日本28) 「震災情報に言葉の壁」(西日本29) 外国人情報収集への不安		「防災意識は『南高北低』」地震保険より 鹿児島46%3位，福岡29%29位(西日本31) 能古島で風評被害 花のシーズン観光打撃(西日本4/1)		デマ「27日午前2時ごろ大地震が来る」 福岡市義援金4億超 と発表(5月末現在)	
ライフライン 電話	災害優先携帯電話不通に NTT西日本など各社通信規制 →NTT西日本規制解除(15:23)								
電気	直後2,640世帯が停電 →停電ほぼ復旧（13時ごろ）								
水道	漏水1,500件、170世帯が断水　漏水報告100件								
ガス	ガス漏れ166件（阪神以後「マイコンメータ」装着義務づけ） 福津市では7世帯16人避難								
交通網被害 道路	福岡空港点検のため閉鎖 →福岡空港再開（11:18） 九州自動車道八幡−久留米間通行止 福岡県内の道路損壊62か所 天神と九州各地を結ぶ高速バス運行停止 →高速道路開通(14:30)　高速バス再開(15:00)					諸島も被害，能古島（巨岩転落）， 志賀島（がけ崩れ道路陥没）	余震で高速道路一部速度規制 1時間後解除(4/1)		
鉄道	JR九州，全線運行停止（九州新幹線と宮崎県内除く）→JR九州，順次運転再開(17:50) 西鉄大牟田線・宮地岳線全線の運行を一時見合せ　→JR九州，全運転再開(18:15) 山陽新幹線4時間半停止(新山口−博多間) →新幹線再開,53本は運休(15:46) 福岡市営地下鉄停止　→市営地下鉄全線復旧(17:10)						余震のため新幹線送電停止(4/1)	新幹線停電で緊急停止3時間 糟屋郡久山町(3/20)	
人的被害	福岡佐賀長崎3県で196人負傷 路上ブロック壁倒壊で1人死亡 落下ガラスで福岡ビル下の歩行者2人けが	負傷者471人 （福岡+佐賀+長崎）	負傷者735人(福岡724,佐賀10,長崎1)　心のケア必要377人 (21日17時発表)　（福岡市内、同教委）＝朝日23日 負傷者，福岡・佐賀・長崎で747人， 新たに福岡で9、佐賀で3＝朝日23日		負傷者，福岡+佐賀+長崎で753人(朝日27日)			負傷者は計1,015人(朝日4/19) 余震の負傷者58人(福岡57佐賀1)	
建物被害 重要施設	福岡ビルのガラス444枚割れ，うち290枚落下 エレベータ利用者閉じ込め57カ所 福岡タワー内15人(10:53)				『耐震マンション』もろく(西日本24日) 「地震保険の補償無し」 ブロック塀倒壊(西日本26日)			福岡市でマンション全壊3，半壊18， 一部損壊327(4/19現在)	福ビルのガラス交換 終了(5/31)
一般住宅	福岡市内で19棟が全壊，161棟が半壊 一部損壊は福岡602棟，長崎6棟，熊本2棟		損壊家屋は福岡714棟，佐賀4棟，長崎3棟 (21日17h発表) 余震で半壊の民家1棟倒壊(22日)		危険度判定355棟（玄界島127，西浦・宮浦地区147，志賀島67)(25日) 家屋被害は全壊30戸，半壊170戸，一部損壊753戸(27日)			家屋被害6626棟(朝日4/19)	
産業・観光施設									玄界島の漁業再開(5/1)
火災	長崎県で地震に伴う火災で1棟が全焼								
斜面崩壊 地盤災害	博多港中央ふ頭で地盤沈下，Yahoodーム付近液状化 がけ崩れ福岡県9か所，長崎県1か所，大分県1か所			埠頭6箇所で沈下が判明(22日)					
水害				22日福岡地方に大雨警報　22日からの総雨量福岡市で26mm →西浦地区に避難勧告(22日夕刊)　福岡市内24日までに32mm，最低気温4℃					
余震活動	20日89回	21日 33回	22日 正午までに11回「徐々に減少傾向」 22日15:55玄界島震度4の余震 （玄界灘深さ10km、M5.4）	23日11回（合計183回）	26日11回（累計225回）		余震 4/1 21:52 M5.3 春日市で震度4，震源域陸地に拡大	最大余震 4/20 6:11 M5.8 （春日市で震度5強） 20日10hまで余震累計311回	余震 5/2 1:24 M4.9 （春日市で震度4）
専門家による コメントなど	鈴木貞臣九大教授，アムールプレートが原因と推測 海上保安庁「活断層が海底でどこまで延びているのかは不明」 気象庁余震は「回数は減りつつあるがM6程度の余震の可能性」 マグニチュード6.6と発表される（後で7.0に訂正） 地震発生（本震M7.0） 2005年3月20日10:53			「未知の断層海底で活動」 政府調査委＝朝日22日	土木学会と地盤学会の合同調査(26日) 警固断層影響で被害集中，九大・日野教授 短周期の波が強く被害小さくなった，筑波大・境助教授	「阪神以降西日本は活動期」溝上東大名誉教授 「東区は軟らかい地層が中央区より浅かったのが 影響したのでは」川瀬博・九大教授 「井戸の水位異常変化、地震の前兆か」 福岡市東区の人工島,江原・九大教授(西日本28)	九州大「震災フォーラムin九大」開催(4/6) 「断層南端の破壊がすすんでいるのではないか」 清水洋・九大地震火山研教授 「内陸部まで余震源拡大，本震が古い断層破壊 したのでは？」下山・九大助手(西日本31)			「玄界島、推定震度7， 1000gal」東大地震研 三宅助手(5/23発表) 「マンション被害、築年 数に無関係、新耐震 基準81以降も被害多 数」河野九大教授
	地震発生	数時間後	半日後	1日後	2日後	1週間後	2週間後	1ヶ月後	2ヶ月後